

令和2年度 第1回上越市社会教育委員・上越市立公民館運営審議会委員会議並びに意見交換会

次 第

日 時：令和2年7月3日(金)  
午前9時30分～  
場 所：教育プラザ研修棟 3階大会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

【第1部】

(1) 令和元年度事業報告について 資料No.1、2、3

(2) 令和2年度事業計画について 資料No.4、5

(3) その他 資料No. 6

【第2部】

(1) 令和3年度社会教育方針作成に向けた意見交換 資料No.7、8、9

(2) その他

4 閉 会

## 令和元年度事業の報告

## ○社会教育係

事業名	社会同和教育活動事業
決算見込額 (現計予算額)	3,354千円(4,065千円)
事業内容	<p>○ 現地学習会(部落問題学習会)  実施期間：平成31年4月～令和2年1月  目 的：同和問題をはじめとする人権問題に対する正しい理解と認識を深め、それぞれの実践に生かしていくことを目的に、教職員等を対象とした現地学習会を開催する。  内 容：学校等からの依頼に応じて、白山会館を会場に現地学習会を開催した。  参加者数：市内72校、市外50校、小・中学校以外29で計151、計2,226人が参加した。</p> <p>○ 人権を考える講話会  実施期間：令和元年6月～令和元年11月  目 的：小学校区を単位として、PTAや町内会など地域住民を対象に人権を考える講話会を開催し、人権や差別についてともに考え、差別やいじめのない社会を目指す。(3年で全50小学校区を一巡する。平成30年度から5巡目を開始)  内 容：同和問題をはじめとする人権をテーマに、社会教育指導員が講話を行った。計画実施校以外にも、小学校2校から講師派遣の依頼を受けて、講話会を開催した。  参加者数：17小学校区で実施し、地域住民等565人が参加した。その他、飯小学校、高田西小学校の2会場で実施し、54人が参加した。</p> <p>○ 小中学生学習会  実施時期：令和元年5月～令和2年2月  目 的：基礎学力の向上や仲間づくりを進め、正しい人権意識を持った差別に負けない子どもを育てる。  内 容：小学生、中学生学習会とも週2回の学習会を白山会館で実施した。  (回数：小学生学習会66回、中学生学習会55回)  参加者数：小学生学習会の参加延べ人数406人(対象者6人)、中学生学習会の参加延べ人数272人(対象者1人)、計678人が参加した。  ※ 参加者数には、対象者の友達として参加した人数も含む。</p> <p>○ 人権教育・啓発図書及びビデオの貸出  内 容：市民、社会教育・学校教育関係者が実施する研修会や学習会、自己啓発のために人権教育・啓発図書やビデオ、DVDを配置し、無料で貸し出す。  今年度実績：図書(白山会館設置) 配置497冊(貸出24件)  ビデオ、DVD(社会教育課設置) 配置42巻(貸出1件)  (視聴覚ライブラリーの人権・同和教育関係のDVDの紹介 ※貸出121件)  新規購入：図書15冊</p>

評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地学習会は、上越市内外を問わず、多くの小中学校等から白山会館で学習会を開催してもらうことができた。今後も、参加した教職員等が同和問題や同和教育について正しく理解する研修の機会となるよう、継続して行っていく必要がある。</li> <li>・人権を考える講話会の開催に当たっては、地域青少年育成会議等の地域団体からの協力により、保護者や教職員だけでなく地域住民の参加があり、人権や差別について考える機会を提供し、人権教育及び人権啓発に取り組むことができた。</li> </ul>
-----	--

事業名	謙信K I D Sプロジェクト
決算見込額 (現計予算額)	2,593 千円 (2,848 千円)
事業内容	<p>実施期間：令和元年6月～令和2年2月</p> <p>参加者：小学生447人（延べ参加者数1,691人） 出席率85.3%</p> <p>目的：ふるさと上越がもつ魅力ある体験活動を通して、学ぶ意欲やふるさとを愛する心を育てる。異学年、異学校の子も同士や講座にかかわる地域の方との交流を推進し、コミュニケーション能力を育てる。</p> <p>体験活動を通して、学ぶ意欲を育て、自分の考えを持ちながら行動する資質を育てる。</p> <p>内容：仲間と協力し、自分の考えを持ち行動する資質の育成を図る「未来を支える人づくり」として、18講座22コースを実施した。</p>
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員467人に対して447人の参加となり、地域を知る様々な体験活動を提供することができた。</li> <li>・体験活動の楽しさや学ぶ楽しさを体感することにより、好奇心や探究心が芽生えるきっかけを作った。また、異学年、異学校の仲間との交流を図ることができた。</li> <li>・事業開始から10年以上を経過し、社会情勢も変化していることから、事業内容を見直すとともに、講座編成を検討していく必要がある。</li> </ul>

## ○公民館係

事業名	公民館事業
決算見込額 (現計予算額)	55,598 千円 (59,300 千円)
事業内容	<p>学びのグランドデザインにおける「5本の事業の柱」(下記のとおり)に基づき、各地区公民館(分館含む)で321事業(1,095回)を実施し、42,716人が参加した。</p> <p><u>①学びのきっかけづくり</u>          地域住民のニーズに応じた趣味や教養講座等から個人の学びの意欲を高めるとともに、交流の輪を広げる。          *趣味・教養講座、体育・レクリエーション講座67事業を実施。(参加者数=4,690人)</p> <p><u>②未来を支える人づくり</u>          地域資源および地域の人材を活用した体験活動や交流等を通じて、子どもたちの豊かな心をはぐくむ。          *青少年教育活動事業、こうみんかんキッズフェスタ事業35事業を実施。(参加者数=4,098人)</p> <p><u>③支え合い、育ち合う家庭環境づくり</u>          子どもたちが健やかに育つよう家庭の教育力向上を図るとともに、子どもの居場所づくりに努める。          *家庭教育支援講座、親子活動講座、夏休み☆子どもつどいのひろば34事業を実施。(参加者数=2,374人)</p> <p><u>④地域・現代課題に対応した人づくり</u>          各地域自治区における地域の課題や情報モラルなどの現代課題を学習することにより、課題解決に向けた意識を高める。          *元気の出るふるさと講座、公民館のつどい、地域・現代課題講座45事業を実施。(参加者数=2,240人)          元気の出るふるさと講座については、8地区公民館(8事業)において実施。          実施地区：高田区、春日区、直江津区、有田区、新道区、和田区、三郷区、八千浦区</p> <p><u>⑤行動する人への支援</u>          これから行動しようとする人や自主的に活動している団体、個人への活動支援を通じて、活動機会の提供及び活動の維持・継続を図る。          *分館事業、ボランティア活動、団体・サークルや地域活動への支援、生涯学習フェスティバル140事業を実施。(参加者数=29,314人)</p>
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館事業を開催することにより、学びに対する意欲や関心を高め、参加者同士の交流を深めるなど、行動する人づくりに向けて実践の場を提供することができた。</li> <li>・公民館運営委員をはじめとした地域の人・団体と連携し、各地域の現状や住民の学習ニーズの把握に努めた。</li> </ul>

事業名	夏休み☆子どもつどいのひろば
決算見込額 (現計予算額)	—
事業内容	<p>目 的：夏休み期間中、公民館を会場に、子どもたちが自由に活動する機会を提供することで、公民館を身近に感じるとともに、公民館の利用促進を図る。</p> <p>内 容：公民館の一室を開放し、子どもたちが気軽に安心して過ごす場所を提供するほか、公民館主事や地域ボランティア等の大人が、宿題の補助や工作等の活動を企画・運営する。(高田、直江津、春日、谷浜・桑取、安塚、頸城、吉川、清里以外の 20 地区公民館において実施)</p> <p>対 象：小学生を主とする</p> <p>期 間：夏休み期間中の主に平日の午前 9 時から午後 4 時まで (公民館主事の常駐時間)</p> <p>参加者：延べ 1,230 人</p>
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業を通して、異学年や異学校の子どもの同士が交流する姿が多く見られ、仲間づくりや、公民館を利用するきっかけにつなげることができた。</li> <li>・公民館以外にも町内会館を会場として開放するほか、事業の実施にあたって児童クラブやすこやかサロンなど、地域団体との連携を図った。</li> </ul>

事業名	公民館図書室事業
決算見込額 (現計予算額)	1,168 千円 (1,179 千円)
事業内容	浦川原区及び頸城区を除く 11 区の公民館図書室において公民館利用者を始めとした地域住民の要望に応じた図書の購入により、公民館活動及び地域の活動に活用される図書室運営を行う。
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館利用者や公民館事業参加者に図書購入希望アンケートをとるなど、地域住民の意見を反映した選書や公民館活動に関する図書の購入など、図書室の利用促進を図ることができた。</li> </ul>

## ○生涯学習係

事業名	成人式運営事業
決算見込額 (現計予算額)	4,230千円(4,518千円)
事業内容	<p>実施日：平成31年4月6日（土）</p> <p>会場：リージョンプラザ上越 インドアスタジアム</p> <p>対象者：平成10年4月2日から平成11年4月1日の間に生まれた方 2,058人</p> <p>出席状況：1,544人（出席率 75.0%）</p> <p>目的：新成人が成人を迎えたことを祝うとともに、式への参加を通して、ふるさと上越で生まれ育ったことを改めて認識し、成人したことの自覚や自立しようとする機運を高めるため、開催する。</p> <p>内容：上越教育大学吹奏楽団によるオープニング後、「式典」と成人の集い実行委員会による「成人の集い」の2部構成で開催した。</p> <p>成人の集いは、新成人代表6人で構成する実行委員会が企画運営した。20年間の歩みをスライドショーにし、合間に当時に関するクイズを行うことで、両親や恩師への感謝の気持ちや友人と一緒に過ごした思い出を振り返った。また、現在全国区で活躍している上越市出身のバンド「My hair is bad」から新成人へのエールをビデオメッセージの形で流したほか、「お楽しみ抽選会」を行い、上越市の魅力について知ってもらうため、メイド・イン上越を紹介し、抽選に当たった人にはメイド・イン上越認証の特産品をプレゼントした。</p> <p>その他：記念品として、印鑑ケースを贈呈した。</p>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席した新成人からは、「地元出身で、全国で活躍しているバンドからのメッセージは嬉しかった。自分も夢に向かって頑張ろうと思った」などの声が聞かれた。人生の節目となる事業として、今後も必要な事業と考える。</li> <li>・実行委員6人からは、「企画を考えることや司会進行など、良い経験になった」、「自分たちで作ったスライドショーを楽しんでもらえてよかった」等、実行委員になって良かった等の感想があり、実行委員の充実感や達成感につなげることができた。</li> <li>・大きな問題もなく円滑に式典及び成人の集いを行うことができた。</li> </ul>

事業名	地域学校協働本部事業（地域青少年育成会議）
決算見込額 (現計予算額)	3,233 千円(3,921 千円)
事業内容	<p>目的：地域の子どもは地域で育てるという視点に立ち、地域が主体的に地域の教育活動を考え、学校と連携して地域の教育活動を行い、青少年の健全育成の推進に寄与する。</p> <p>内容：学校と地域をつなぐ役として、160 人の地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）を委嘱 地域青少年まちづくりワークショップ実践事例発表及び意見交換会や地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の研修会（2 回）の開催</p>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会委員を兼任する地域青少年育成会議メンバーや地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）が、学校の教育方針や活動内容を知ることにより、地域がどのように学校と連携し、地域における子どもたちの教育活動を考えていけばよいか考えるきっかけとなっている。</li> <li>・地域青少年まちづくりワークショップ実践事例発表及び意見交換会では、地域の 2 団体が地域で実践していることを発表し、各育成会議の活動の参考や情報共有を図るとともに、小人数のグループに分かれての意見交換では、日頃の活動や事務局運営について意見を出し合い、地域で何ができるかの検討を深める場となった。</li> </ul>

事業名	子ども交流活動支援事業補助金
決算見込額 (現計予算額)	482 千円(750 千円)
事業内容	<p>目的：子どもの異学年交流や地域交流等の促進を図り、ひいてはリーダーの育成につながる活動を支援する。</p> <p>内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助対象団体：単位子ども会、地区子連、地域青少年育成会議、文化活動団体（5 人以上で組織されるもの）、その他類する市長が認める団体</li> <li>・補助対象事業：子どもの異学年交流、地域交流等の促進を図り、ひいてはリーダーの育成につながる活動で、市長が適当と認めるものが対象。文化活動団体については、上記活動に加え、申請団体に所属していない子どもが活動に参加することが必要。</li> <li>・補助額・率：補助対象活動の参加又は募集の範囲に応じて上限額は 1 万円から 10 万円 補助率は費目に応じて 5/10 から 10/10。</li> </ul> </p> <p>交付実績：26 団体（482 千円）  交付申請：30 団体（798 千円）中止 4 件（うち、新型コロナウイルスによる中止 2 件）  その他：平成 28 年度に市子ども会連合会（市子連）への補助金に代わる制度として「子どもリーダー育成事業補助金」を創設し、令和元年度からは補助金の内容を見直した「子ども交流活動支援事業補助金」として支援に取り組んでいる。</p>

評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金利用団体からは、子どもたちが自ら役割分担を行い、上級生が下級生の世話や指導を行っていたなど、制度目的を一定程度達成したと考えられる。</li> <li>・令和元年度は、見直し後最初の年であったが2月末からの新型コロナウイルス感染症による感染リスクに予め備えるために2件（補助見込み2件で200千円）の活動が中止となり、最終的な予算執行率が約6割であった。</li> <li>・しかしながら、申請ベースでは当初予算を上回る申請額であったため、見直しによる効果はあったものと考えている。</li> </ul>
-----	---

事業名	上越市民芸能祭																																							
決算見込額 (現計予算額)	178千円 (178千円)																																							
事業内容	○第49回上越市民芸能祭																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>芸能分野</th> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> <th>参加団体数</th> <th>入場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>洋舞</td> <td>5月25日</td> <td>140人</td> <td>7団体</td> <td>1,300人</td> </tr> <tr> <td>民謡・民舞</td> <td>6月30日</td> <td>276人</td> <td>35団体</td> <td>1,100人</td> </tr> <tr> <td>合唱</td> <td>7月7日</td> <td>709人</td> <td>38団体</td> <td>950人</td> </tr> <tr> <td>古典芸能</td> <td>11月4日</td> <td>122人</td> <td>14団体</td> <td>250人</td> </tr> <tr> <td>ハワイアン・フラ</td> <td rowspan="2">11月24日</td> <td>290人</td> <td>22団体</td> <td>900人</td> </tr> <tr> <td>よさこい</td> <td>130人</td> <td>7団体</td> <td>500人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>—</td> <td>1,667人</td> <td>123団体</td> <td>5,000人</td> </tr> </tbody> </table>	芸能分野	開催日	参加者数	参加団体数	入場者数	洋舞	5月25日	140人	7団体	1,300人	民謡・民舞	6月30日	276人	35団体	1,100人	合唱	7月7日	709人	38団体	950人	古典芸能	11月4日	122人	14団体	250人	ハワイアン・フラ	11月24日	290人	22団体	900人	よさこい	130人	7団体	500人	合計	—	1,667人	123団体	5,000人
	芸能分野	開催日	参加者数	参加団体数	入場者数																																			
	洋舞	5月25日	140人	7団体	1,300人																																			
	民謡・民舞	6月30日	276人	35団体	1,100人																																			
	合唱	7月7日	709人	38団体	950人																																			
	古典芸能	11月4日	122人	14団体	250人																																			
	ハワイアン・フラ	11月24日	290人	22団体	900人																																			
	よさこい		130人	7団体	500人																																			
	合計	—	1,667人	123団体	5,000人																																			
※合唱のつどいは久比岐野合唱連盟との合同開催により参加者数・参加団体数が増加している。																																								
・上越市民芸能祭協議会との共催により開催。																																								
・上越市民芸能祭協議会に交付金を交付し、活動を支援。																																								
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃の学習成果を発表する場を設けることで、学習意欲のさらなる向上と参加団体同士の交流が図られている。</li> <li>・市民へ芸能に触れる多様な機会を提供していく上で必要な事業である。</li> <li>・昭和54年の上田市との姉妹都市締結以来、両市の文化交流事業として民謡・民舞のつどいへの上田市の民踊団体の招聘を継続している。</li> </ul>																																							

事業名	上越市美術展覧会
決算見込額 (現計予算額)	3,349 千円(3,719 千円)
事業内容	<p>○第 49 回上越市美術展覧会</p> <p>期 日：令和元年 10 月 6 日（日）～10 月 14 日（月・祝）（入場者数：3,675 人）</p> <p>会 場：高田公園オーレンプラザ、ミュゼ雪小町</p> <p>内 容：日本画、洋画・版画、彫刻・立体造形、工芸・グラフィックデザイン、書道、写真、の 6 部門の作品を審査し、入選作品を展示。（無鑑査作品も同時に展示）公募出品点数：351 点（内入選：340 点）、無鑑査出品点数：63 点</p> <p>入賞：31 点（市展賞、優秀賞、奨励賞、新潟日報美術振興賞）、佳作：31 点</p>
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の入場者は 4,373 人であり、前回は 698 人の減であった。</li> <li>開催期間中の 3 連休初日に台風 19 号が接近した影響により、3 連休の入場者数が前回は 843 人減となった。平日は前回は 145 人増だった。</li> <li>・応募作品数は 351 点で、前回は 34 点の増であった。</li> <li>すべての部門で出品者数、応募作品数が増加した。</li> <li>・アンケート結果から、周知方法についてもっと幅広い媒体を使えばより多くの一般客が見に来る、との意見があったことから、今後、運営委員とともに検討を行う。</li> </ul>

事業名	新潟県美術展覧会上越展
決算見込額 (現計予算額)	634 千円(732 千円)
事業内容	<p>○第 74 回新潟県美術展覧会上越展</p> <p>期 日：令和元年 6 月 26 日（水）～6 月 30 日（日）（入場者数：1,679 人）</p> <p>会 場：上越市教育プラザ体育館</p> <p>内 容：日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、書道、写真、の 7 部門で県展賞受賞作など 409 点の作品を展示。県全体の応募点数は 3,611 点（うち上越市民は 151 点）、入賞・入選数は 1,098 点（うち上越市民は 48 点）。</p>
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の入場者は 1,710 人であり、前回は 31 人の減であった。会期前半の入場者数は前回より良かったものの、後半の土・日の悪天候により入場者数が伸び悩み、結果として前回よりも減となった。</li> </ul>

## ○青少年健全育成センター

事業名	街頭指導活動
決算見込額 (現計予算額)	2,214 千円(2,292 千円)
事業内容	<p>実施回数：年間 234 回実施</p> <p>会 場：市街地、商業施設で高田地区（4 コース）、直江津地区（3 コース）</p> <p>対 象 者：幼児、児童生徒、有職無職少年</p> <p>目 的：青少年の健全育成及び非行、犯罪の防止及び被害防止のため、巡回指導で「愛の一声」活動を行った。</p> <p>内 容：上越市が委嘱する 76 名の育成委員で 16 班を編成し、旧高田・直江津地区の市街地、商業地帯、駅周辺及び青少年が集まる場所を巡回してあいさつや指導・注意等を行った。（声かけ人数 11,313 人、内注意・指導件数 583 件）</p> <p>そ の 他：定例街頭指導の他、以下の活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別街頭指導 7 月 12 日（南高田駅周辺） 10 月 11 日（高田駅周辺）</li> <li>・PTA 一日街頭指導 （8 月～9 月）小・中学校 43 校 46 名参加</li> </ul>
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「愛の一声」運動の成果として、児童生徒から明るいあいさつや返事が多く返ってくるようになった。また、注意・指導に対しても素直に返答する子どもが増えている。</li> <li>・今年度は、駅前通路でのジベタリアン<sup>㊤</sup>が目立った。また駐車場のタバコの吸殻、自転車の歩道走行が目立ったが、注意して見回ることによって減少してきた。</li> <li>・街頭指導を通して子どもや地域に見守る姿を示すことにより、地域全体の防犯や青少年の健全育成への意識の高揚に役立った。</li> </ul> <p>㊤通路などの地べたに座って話したり飲食している人をいう。</p>

事業名	環境浄化活動
決算見込額 (現計予算額)	0 千円(0 千円)
事業内容	<p>実 施 日：7 月 1 日から 7 月 31 日までの 1 ヶ月間（社会環境の実態調査）</p> <p>会 場：市内全域</p> <p>対 象 者：青少年健全育成条例に基づく対象物品を取扱う施設</p> <p>目 的：青少年を取り巻く社会環境の実態を把握し、環境の改善を進める資料を得る。</p> <p>内 容：地域青少年育成会議の協力を得て、有害図書類等自販機の設置状況、有害図書類及び DVD 販売状況、危険玩具販売店・ゲームセンターの設置状況等について調査した。</p> <p>そ の 他：調査結果は集約して県福祉保健部児童家庭課へ報告した。また、上越市の集約結果を基に、9 月 26 日に有害図書類等自販機の立入調査（1 ヶ所 3 台）を実施した。残る自動販売機（2 ヶ所 6 台）については、業者との話し合いにより、12 月より販売休止となっている。今年も業者及び地権者に対して改善</p>

	要望を行った。
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酒類・タバコ自販機が減少し適切に管理されている現状から、今年度から調査項目から除外された。また、8月から大手コンビニエンスストアは有害図書類の展示・販売を中止したことから同様に調査項目から除外された。徐々に健全な社会環境に改善されてきている。</li> <li>・今後も青少年健全育成条例に従った営業がなされるよう注視していく。</li> </ul>

事業名	健全育成活動
決算見込額 (現計予算額)	0千円(0千円)      *保護司会より助成 250千円(250千円)
事業内容	<p>“社会を明るくする運動”街頭宣伝活動</p> <p>実 施 日：6月21日(柿崎) 7月1日(浦川原) 7月2日(高田) 7月3日(直江津)</p> <p>会 場：柿崎(浄福寺お引き上げ界限)、浦川原(ナルス浦川原店前) 高田(朝市、イレブンプラザ前、あすとびあ高田前、イオン入口、バロー上越モール)、直江津(朝市、旧イトーヨーカドー入口、うみがたり前)</p> <p>対 象 者：上越市民全般</p> <p>目 的：朝市や大型ショッピングセンターなど、人が集まる場所で犯罪や非行の防止を呼び掛ける。</p> <p>内 容：うちわやティッシュを配りながら、非行や犯罪防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせて、犯罪のない明るい社会を築く気運を醸成する。</p> <p>そ の 他：“社会を明るくする運動”の関連活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上越市青少年健全育成研究会(7月15日：牧コミュニティプラザ)128名参加</li> <li>・作文コンテスト応募(小学校0編、中学校76編の応募あり)</li> </ul>
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街頭宣伝活動には、教育長をはじめ総勢80名の関係者が参加し、取組への理解や協力の気運を高めることができた。</li> <li>・研究会では、「心身ともに健康な子ども」をテーマに、新潟薬科大学非常勤講師・文部科学省CSマイスター大山賢一氏の『夢を目標に!』の講演後、参加者によるグループ討議を行い、子どもたちの夢や大人の期待などについて意見交換した。地域の子どもの育成活動への理解を深めることができた。</li> </ul>

事業名	若者育成支援事業
決算見込額 (現計予算額)	38 千円(118 千円)
事業内容	<p>若者育成支援事業として下記の取組を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 「若者ほっとライン」による相談の実施（通年） <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数延べ 196 件（18 人）・・・不登校、ひきこもりの相談が多い。</li> </ul> </li> <li>② 若者の居場所（Fit）の随時開設（通年：教育プラザ内）＊延べ対応 95 回 <ul style="list-style-type: none"> <li>・R1 年度利用者 4 名・・・週 1 回程度通所し、会議室等で学習や活動を行っている。</li> </ul> </li> <li>③ 上越市親の会の開設（年 5 回：市民プラザ）＊第 6 回は感染対応で中止 <ul style="list-style-type: none"> <li>・延べ参加者 99 名・・・保護者が悩みを話し合い、アドバイスをし合う。 個別相談希望者はカウンセラーが相談に対応する。</li> </ul> </li> <li>④ 若者育成支援団体の支援ネットワークづくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークづくりに向けた協議・情報交換（年 3 回）</li> <li>・若者育成進路研修会の実施（参加者 38 名）</li> <li>・若者育成支援関係機関・団体の紹介（学び愛フェスタで紹介）</li> <li>・「つなぎナビ」を作成・配布</li> </ul> </li> <li>⑤ ユースアドバイザー（支援員）養成講座の開設（年 5 講座） <ul style="list-style-type: none"> <li>・申込者 57 名・・・若者支援関係者、支援に関心のある人等が参加し知識と技術を学び、資質向上を図った。</li> </ul> </li> </ul>
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年に比べて延べ相談件数が 80 件以上増えた。広報活動を継続し市民の認知度をさらに高めていくとともに支援の充実を図る。</li> <li>・「若者の居場所」の利用者や「上越市親の会」の出席者も徐々に増え、若者支援・親支援が進んでいる。家庭環境を整えることで更に自立への動きを生み出したい。</li> <li>・支援団体が協働して「若者育成進路研修会」の実施や「つなぎナビ」の作成・配布ができた。更に連携を深め、人材育成にも取り組んでいく。</li> </ul>

## ○上越科学館

事業名	上越科学館管理運営事業
決算見込額 (現計予算額)	72,767 千円 (73,308 千円)
事業内容	<p>概要：上越地域の科学の拠点施設として、常設展示のほか、自然観察教室、実験・工作教室、サイエンスショーなど様々な自主事業を実施した。</p> <p>主な事業：・夏期特別展「大虫展Ⅱ」 【7月13日～8月25日】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年のための科学の祭典 上越大会 【11月23日、24日】</li> <li>・サイエンスショー【日曜日、祝日】</li> <li>・自然観察教室【植物、野鳥、地層、昆虫、ブナ林】</li> <li>・その他、理科・科学全般、総合学習に関する相談【随時受付】</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総利用者数は103,420人であり、平成30年度の108,494人に対して、5,074人の減となったが、当初計画の目標であった103,000人を達成することができた。</li> <li>・イベントや教室等の自主事業を通じて、科学的な知識の普及や科学リテラシーの普及に努めた。また、出前講座は従来以上に outward 科学に親しむ習慣の形成に貢献することができた。</li> <li>・今後も上越地域の科学の拠点施設としての役割を担い、入館者増はもとより魅力的な教育普及事業を継続してほしい。</li> </ul>

## ○上越清里星のふるさと館

事業名	上越清里星のふるさと館管理運営費
決算見込額 (現計予算額)	16,381 千円 (16,979 千円)
事業内容	<p>概要：・天体観測及び天文に関する資料の展示等を通じて環境や自然の大切さを学ぶ機会を提供する。また、体験学習を通じて、生涯学習の振興と青少年の健全育成に寄与する。</p> <p>・平成 29 年度に更新しデジタル化したプラネタリウムの有効活用に努めるとともに、隕石落下の歴史的事実と上越地域唯一の天体観測施設である貴重性と話題性を広く PR し、天文教育の拠点にふさわしいサービスを提供する。</p> <p>主な事業：・「蘆池の隕石」落下 100 年記念カウントダウンイベント【8、9 月】</p> <p>・謙信 KIDS プロジェクト「ほし」「星」受講者の受入れ 【7、8、9、10 月】</p> <p>・くしりん号で巡る星空バスツアーなどの自主事業</p> <p>・保育園、幼稚園、小学校、中学校の受入れ及び出前講座</p>
評価	<p>・総利用者数は 7,572 人であり、平成 30 年度の 6,728 人に比して、844 人の増となった。 (平成 17 年以降では最高の入込)</p> <p>・小中学校へ学習プラネタリウム*や出前事業の案内のほか、プラネタリウムオリジナル番組及び毎月の紹介ポスターを制作するなど積極的な広報活動を実施した。</p> <p>*学習プラネタリウムとは、ふるさと館の指導員が説明しながら小中学生の教科書の内容に沿ってプラネタリウムを上映する現地学習会。プラネタリウムを使った授業ができることを各学校に PR している。</p> <p>・今後も上越地域の天文教育の拠点施設としての役割を担い、入館者増はもとより幅広い年代のニーズに合わせた魅力的な教育普及事業を継続していきたい。</p>

施設の名称	令和元年度		平成30年度		令和2年度		令和元年度					
	件数	人数	件数	人数	予算額	特定財源	予算額	特定財源				
高田地区公民館	9,055	194,188	11,823	207,406	44,291	15,043	41,773	13,073				
直江津地区公民館	3,020	36,178	3,215	39,680	60,670	4,982	55,397	4,703				
春日地区公民館	4,897	78,121	3,704	75,478	10,710	3,480	10,948	3,035				
八千浦地区公民館	2,098	41,784	2,223	49,994	20,670	4,138	21,873	3,623				
スポーツハウスはまぐみ	825	10,788	994	13,035	2,237	1,195	2,663	1,096				
新道地区公民館	582	4,374	614	4,510	83,845	30,347	48,306	3,868				
金谷地区公民館	1,055	10,342	889	9,808								
諏訪地区公民館	344	5,164	383	5,674								
津有地区公民館	1,323	21,600	1,218	15,910								
三郷地区公民館	328	4,766	253	3,691								
和田地区公民館	467	4,082	472	3,083								
高土地区公民館	572	9,115	501	10,346								
有田地区公民館	3,151	58,562	3,248	72,392								
保倉地区公民館	111	2,533	96	2,086								
北諏訪地区公民館	283	2,957	282	3,165								
谷浜・桑取地区公民館	592	4,848	650	5,265								
谷浜・桑取地区公民館桑取分館	123	1,321	134	1,399								
安塚地区公民館	961	13,778	1,122	16,786					-	-	-	-
浦川原地区公民館	233	2,238	229	2,061					1,939	63	2,664	59
大島地区公民館	185	2,462	254	3,275	7,131	315	6,519	358				
牧地区公民館	839	9,800	986	11,448	309	0	155	0				
柿崎地区公民館	845	9,812	1,011	13,520	17,418	1,775	19,451	1,960				
柿崎地区公民館別館	688	4,462	734	4,781								
柿崎地区公民館川西分館	442	6,162	508	6,253								
柿崎地区公民館下黒川分館	231	3,248	247	3,251								
柿崎地区公民館黒川分館	160	2,946	164	2,762								
大潟地区公民館	641	7,163	735	7,033	7,500	333	6,802	336				
頸城地区公民館	5,134	137,364	5,531	152,836	86,170	10,248	85,561	9,322				
頸城地区公民館南川分館	377	4,267	471	4,466	8,238	233	14,892	233				
頸城地区公民館西部分館	229	3,212	231	3,151								
頸城地区公民館大坂井分館	43	1,242	40	1,081								
頸城地区公民館明治分館	86	882	129	1,188								
頸城地区公民館明治南分館	130	967	280	2,074								
吉川地区公民館	343	4,674	421	5,508	5,456	607	5,327	596				
吉川地区公民館源分館	26	432	24	363								
吉川地区公民館川谷分館	18	483	15	430								
吉川地区公民館旭分館	35	2,001	43	1,313								
吉川地区公民館東田中分館	24	1,343	21	770								
吉川地区公民館泉谷分館	30	942	28	527								
吉川地区公民館勝穂分館	43	926	62	870								
吉川地区公民館竹直分館	5	965	4	555								
中郷地区公民館	424	12,849	414	13,364	16,791	953	16,275	871				
板倉地区公民館	863	17,059	773	17,271	7,957	675	7,582	660				
板倉地区公民館菰立分館	89	812	84	743								
板倉地区公民館筒方分館	0	0	0	0								
板倉地区公民館寺野分館	0	0	0	0								
清里地区公民館	841	13,212	918	14,997	-	-	-	-				
三和地区公民館	133	2,490	199	2,790	6,440	108	22,174	16,766				
名立地区公民館	1,401	14,246	1,470	15,590	12,769	470	12,432	445				
名立地区公民館体育館												
名立地区公民館下名立分館									-	-	21	393
名立地区公民館上名立分館									39	458	60	817
中川地域生涯学習センター	66	881	74	1,076	6,888	755	8,794	687				
伏野地域生涯学習センター	34	665	38	920								
菱里地域生涯学習センター	0	0	16	1,060								
船倉地域生涯学習センター	6	105	17	340								
須川地域生涯学習センター	32	162	40	266								
大島地域生涯学習センター	70	1,182	67	1,148					573	84	548	70
吉川旭地域生涯学習センター	78	1,140	88	1,318					2,819	72	2,941	72
源地域生涯学習センター	36	1,417	53	1,788								
片貝地域生涯学習センター	20	2,055	44	1,912	4,602	127	4,285	132				
蘆池地域生涯学習センター	41	1,214	36	1,045	1,321	105	2,480	85				
下名立地域生涯学習センター	4	83	3	77	2,772	59	2,930	49				
不動地域生涯学習センター	306	3,001	272	2,498								
七ヶ地区コミュニティセンター	355	3,947	368	4,011	640	293	934	274				
合計		789,472		852,648								

## 令和元年度 高田公園オーレンプラザ

## 協働・育成事業認定団体の活動状況について

## ○協働・育成事業認定団体について

- (1) 事業目的：オーレンプラザが、社会教育施設の一つとして、市民文化団体の育成と市民の文化活動の広がりを進めるため、市民文化団体との協働を促進し、ホール施設を中心とした活用推進とにぎわいの創出を図るもの。
- (2) 具体的には、認定した活動団体に、練習のための十分な環境を提供し、その活動を支援し、団体を育成する。一方、活動団体からはホールを中心とした事業の企画、ロビーなどでのミニコンサートの実施を求め、施設の賑わい創出に協力してもらうもの。
- (3) 認定団体：上越市民吹奏楽団、上越交響楽団の2団体：公募し選定した。
- (4) 認定期間：平成30年7月17日から3年間

## ○令和元年度の活動状況について

## 1 オープンリハーサル (R1. 11. 22 上越市民吹奏楽団、R2. 2. 22 上越交響楽団)

- (1) 事業内容：演奏会のリハーサルをホールにて無料公開
  - ・上越市民吹奏楽団は、12月に開催するクリスマスフェスティバルを控え、大町小学校合唱部などとのコラボレーションも含めリハーサルを公開。
  - ・上越交響楽団は、3月に文化会館で開催する定期演奏会に向けた練習を公開。



(上越市民吹奏楽団：入場者数 52 人)



(上越交響楽団：入場者数 41 人)

## 2 クリスマスフェスティバル (R1. 12. 15 開催)

- (1) 事業内容：上越市民吹奏楽団を中心に、ホールやロビーを使い、大町小学校合唱部や J・O・Y. Gospel などの合唱団体を交えジョイントコンサートを開催。合唱団体は無料のロビーコンサートも開催し、クリスマス音楽を盛り上げた。
- (2) 入場者数：538 人 (第1部ロビーコンサート 180 人、第2部ホール 358 人)



(ロビーコンサート)



(ホールコンサート)

### 3 オーレンプラザの自主事業のアドバイスなど

- (1) 館全体の運営協議：月1回のペースで館全体の運営やイベントの企画案について協議。
- (2) イベントの周知協力：当館の自主事業である「歴史講演会」や「ミュージックファン・オーレ」のポスター・チラシ等の配付やチケット販売に協力。

### 4 その他

令和2年3月15日に開催を予定していた定期利用団体の成果発表会「アートフェス“オーレ”」については、新型コロナウイルス感染症予防のため中止した。

## 令和2年度の主な事業（社会教育課）

※以下は、令和2年度当初の事業計画になります。

新型コロナウイルス感染症対策のため、内容変更あるいは中止・延期となっている事業もあります。現段階での対応状況は、事業名横に記載のとおりです。

### ■社会教育係

#### 《謙信KIDSプロジェクト》

講座内容を見直し、9月から実施

- 1 概要 ふるさと上越の魅力ある体験活動を通して、学ぶ意欲やふるさとを愛する心を育成するとともに、地域の資源や人材をいかし、グローバル社会に生きる力を育てる。
- 2 内容 17講座21コース（うみA・B、ほしA・B、しぜんA・B、しよく、ものづくりA・B、ゆき、縄文、海、電車、上越の城、食、星、プログラミング、ワールドツアー）
- 3 対象 小学生（1～6年生）
- 4 実施時期 6月～令和3年2月

#### 《現地学習会（部落問題学習会）》

コロナ対策を講じたうえで、7月から実施

- 1 概要 教職員等を対象に同和問題をはじめとした人権問題に関する学習会を開催し、正しい理解と認識を深め、人権教育における指導者としての資質向上を図ることを目的に開催する。
- 2 内容 年間を通して学校等からの申請を受け、白山会館で人権教育・同和教育の学習会を開催する。
- 3 その他 市内市立小・中学校72校での実施を目標とし、取り組みを進める。

#### 《人権を考える講話会》

コロナ対策を講じたうえで、9月から実施

- 1 概要 同和問題を始めとする人権問題に対する市民の正しい理解と認識を深め、差別意識の払拭を図ることを目的として開催し、市内50小学校区を3年かけて一巡する計画で実施する。（5巡目の最終年度）  
案内や当日運営は、小学校や地域青少年育成会議など、地域団体の協力を得て実施する。
- 2 対象 講話会を開催する小学校区の児童の保護者、地域団体や町内関係者、教職員等
- 3 開催校区 大手町小、東本町小、稲田小、和田小、春日小、諏訪小、三郷小、高士小、古城小、有田小、下黒川小、明治小、中郷小、針小、豊原小、美守小（計16校での開催を予定）
- 4 講師 社会教育指導員
- 5 内容 講話、意見交換など

#### 《人権教育・啓発図書及びビデオの貸出》

- 1 概要 広く人権意識の高揚を図り、市民、社会教育・学校教育関係者が実施する研修会や学習会、自己啓発のため、図書やビデオ等を無料で貸出する。
- 2 内容 図書（497冊） … 白山会館、社会教育課に設置  
ビデオ、DVD（42巻） … 社会教育課に設置
- 3 貸出、申込方法 図書の貸出しは貸出簿への記入による。  
ビデオ・DVDは社会教育課へ電話（025-545-9245）で申し込む。
- 4 資料一覧 図書、ビデオ、DVDのリストを白山会館図書コーナーに設置するほか、市ホームページに掲載する。  
【上越市ホームページ → 組織でさがす → 社会教育課（青少年健全育成セ

ンター) → 人権・同和教育関係の資料貸し出し】

- 5 その他 上越地区広域視聴覚教育協議会（視聴覚ライブラリー）でも人権啓発ビデオ・DVDの貸出しを行っている。

《家庭教育支援講座》

地区により開催の可否を検討中

- 1 概要 子どもが健やかに育つよう家庭の教育力を高めるため、各種学習機会を提供する。
- 2 内容 全市を対象とした家庭教育講演会の開催及び28地区公民館で「家庭教育支援講座」を開催する。内容は、各地域の保護者要望や地域性等を考慮した上で、決定する。

■公民館係

.....

《公民館事業》

コロナ対策を講じたうえで、7月から実施(講座の内容変更、中止、延期あり)

- 1 概要 「学びの輪が 人をはぐくみ 地域を支えるまち」を社会教育の目指す姿として定め、事業の実施により、学びを通じた人づくり、地域づくりを推進する。公民館で行う事業を下記の5つに分類し、実施及び支援する。
- 2 内容
  - ①学びのきっかけづくり  
「地域探訪講座」、「食について考える講座」、「健康体操教室」など69事業
  - ②未来を支える人づくり  
「子ども体験教室」、「自然観察教室」、「キッズフェスタ」など39事業
  - ③育ち合い、支え合う家庭環境づくり  
「家庭教育支援講座」、「読み聞かせ講座」、「親子料理体験」など35事業
  - ④地域・現代課題に対応した地域づくり  
「元気の出るふるさと講座」、「文化の伝承講座」、「防災講座」など44事業
  - ⑤行動する人への支援  
「生涯学習フェスティバル」、「地域スポーツ大会」、「分館事業」など139事業
- 3 対象 上越市民
- 4 実施時期 年間を通して実施

《公民館図書室の運営》

- 1 概要 公民館利用者を始めとした地域住民の要望に応じた図書の購入により、地域の拠点である公民館で身近に本を手にする機会を提供するとともに、公民館活動やコミュニティ活動に活用される図書室を目指す。  
なお、図書の利用促進の観点から、図書館が蔵書する本の予約等の図書館サービスも図書室で行う。
- 2 内容 各地区公民館図書室に所蔵する図書資料の貸出、公民館利用者及び利用団体等の要望を反映した図書の選定、登録・除架作業、管理運営。
- 3 休館日 12月29日～1月3日ほか、各施設条例に定める日

《夏休み★子どもつどいのひろば》

地域の実情に応じて、子どもの居場所として実施

- 1 概要 各地域自治区における人づくり、地域づくりの拠点である公民館において、子どもたちが自由に活動する機会を提供することにより、公民館を身近に感じてもらい、子どもたちが健やかに育つ環境づくりに努める。
- 2 内容 公民館等施設の一室を開放し、子どもたちが気軽に安心して過ごす場所を提供する。
- 3 対象 主に小学生
- 4 場所 地区公民館内等施設の空いている部屋
- 5 実施時期 夏休み期間中の主に平日午前9時から午後4時まで（公民館主事の常駐時間）。なお、期間は地区公民館ごとに異なる。

## ■生涯学習係

### 《成人式》 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初の4月4日から延期して実施予定

- 1 概要 新成人に対し、成人したことの自覚と自立を促すとともに、生まれ育った上越市への思いを深め、豊かな人間性と社会性を培うため、成人式を開催する。
- 2 内容
  - (1) 日時：11月21日（土）午前11時から午後0時30分
  - (2) 会場：リージョンプラザ上越 インドアスタジアム
  - (3) 対象者：2,083人
  - (4) 次第  
オープニング 上越市民吹奏楽団による演奏  
第1部 成人式  
国歌斉唱、市長激励のこたば・市議会議長お祝いのこたば、来賓紹介、新成人代表スピーチ、市民の歌合唱  
第2部 成人の集い  
公募委員（7人）による実行委員会が企画運営  
・テーマは「新時代～20年間のキセキをめぐり令和（みらい）へ～」  
・「スライドショー&クイズ」  
・「恩師からのメッセージ」  
・「抽選会」

### 《地域学校協働本部事業（地域青少年育成会議）》

事業内容を見直して実施

- 1 概要 「地域の子どもは地域で育てる」という視点に立ち、地域が主体的にその地域の教育活動を考え、学校と連携して教育活動を行い、地域の総合的な教育力の向上を図る。学校と地域青少年育成会議との橋渡しを行う上越市地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）を配置し、学校と家庭と地域の連携を推進していく。
- 2 内容 市内22中学校区すべてに設置されている
  - ・上越市地域青少年育成会議協議会総会
  - ・地域青少年まちづくりワークショップ実践事例発表及び意見交換会
  - ・新任コーディネーター研修会
  - ・広報紙作成 ほか

### 《子ども交流活動支援事業補助金》

- 1 概要 子どもの異学年交流や地域交流等の促進を図り、ひいてはリーダーの育成につながる活動を支援する。
- 2 内容
  - (1) 補助対象団体：単位子ども会、地区子連、地域青少年育成会議、文化活動団体（5人以上で組織されるもの）、その他類する市長が認める団体
  - (2) 補助対象事業：子どもの異学年交流、地域交流等の促進を図り、ひいてはリーダーの育成につながる活動で、市長が適当と認めるものが対象。  
文化活動団体については、上記活動に加え、申請団体に所属していない子どもが活動に参加することが必要。
  - (3) 補助額・率：補助対象活動の参加又は募集の範囲に応じて上限額は1万円から10万円  
補助率は費目に応じて5/10から10/10。

開催の可否を検討中

《上越市民芸能祭》

- 1 概要
  - ・芸能学習の成果を発表する機会を創出し、市民の活動意欲の高揚を図るとともに、市民が芸術や文化に触れる機会を提供し、文化活動へ参加する機運を醸成することを目的に開催する。
  - ・第50回を記念し、市民芸能祭協議会の6部門107団体が一堂に会して発表会を開き、上越市が発足して以来の50年に渡り、市民が芸能を通じた活動、交流、絆を築いてきたことを市内に啓発するために開催する。
- 2 内容
  - ・第50回上越市民芸能祭の開催
  - ・上越市民芸能祭50周年・14市町村合併15周年記念発表会の開催
- 3 期間・会場

芸能分野	開催日	会場
洋舞	5月23日	高田城址公園オーレンプラザ
民謡・民舞	6月7日	リージョンプラザ上越
合唱	7月12日	高田城址公園オーレンプラザ
古典芸能	10月25日	リージョンプラザ上越
ハワイアン・フラ	11月29日	上越文化会館
よさこい		
上越市民芸能祭50周年・14市町村合併15周年記念発表会	11月8日	上越文化会館

- 5 その他 入場無料

中止して来年度に延期

《上越市美術展覧会》

- 1 概要
  - ・市民の美術活動の成果を発表する場や鑑賞の機会を提供し、だれもが生涯学習活動ができるよう支援する。市展入選作品を展示、鑑賞することにより美術への関心を高め、文化振興を図る。
  - ・記念企画を実施することにより、市民の美術への関心を高め、出品者の創作意欲の向上及び来場者数増加に繋げ、ひいては生涯学習活動の活発化に繋げる。
- 2 内容
  - ・第50回記念上越市美術展覧会の開催
  - ・第50回記念企画「特別展示」の開催
- 3 期間 令和2年10月3日(土)～10月11日(日) 9日間(予定)
- 4 会場 高田公園オーレンプラザ、ミュゼ雪小町
- 5 その他 入場無料

中止

《新潟県美術展覧会上越展》

- 1 概要 県内最大の美術展覧会である「県展」巡回展を当市で開催し、市民に芸術鑑賞の機会を提供することにより、芸術文化活動の振興を図る。
- 2 内容 第75回新潟県美術展覧会上越展の開催
- 3 期間 令和2年年6月24日(水)～28日(日) 5日間
- 4 その他 大学生以下は入場無料

■青少年健全育成センター . . . . .

事業内容を修正して実施

《街頭指導》

- 1 概要
  - ・旧高田・直江津地域の商業地帯、駅周辺及び青少年が集まる場所6地域を中心に、青少年健全育成委員が巡回指導で「愛の一声」活動を行う。
- 2 内容
  - ・民生児童委員、保護司会、更生保護女性会、子ども会、町内会から委員54名を委嘱し、12班を編成して年間180回程度の定例巡回指導を行う。
  - ・青色パトロール車による巡回指導(月2回)、PTA一日街頭指導(8月～9月)、他機関と連携した特別街頭指導(7月、10月)を実施する。

《環境浄化活動》

事業内容を修正して実施

1 概 要

・有害図書類等取扱店舗及び自動販売機等の調査を行い、違反販売店への是正指導等を実施する。

2 内 容

- ・7月に「社会環境の実態調査」を地域育成会議ごとに実施し、結果を集約して県に報告するほか、改善要請する。
- ・有害図書類の自動販売機設置業者立ち会いのもとに立入調査を実施し、販売品や周辺の環境、標示等の改善指導を行うとともに、地権者に対して契約更新をしないように要請文を送付する。(現在市内3ヶ所に9台(内6台は販売休止)の自動販売機が設置されている。)

《健全育成活動》

中止

1 概 要

・保護司会と連携し、“社会を明るくする運動”を展開する。

2 内 容

・青少年の健全育成に関する街頭宣伝活動(高田・直江津・柿崎・浦川原)や研究会を実施する。

《若者育成支援活動》

1 概 要

・義務教育終了後、悩みや不安を抱えて困っている若者を支援するため、若者の居場所(Fit)を開設し、支援を通して社会的自立を促す。

2 内 容

- ・支援の窓口として「若者ほっとライン」の周知を図るとともに、不登校・ひきこもり等に悩む保護者を対象とする「上越市親の会」を継続し、保護者・家族への支援を充実させる。
- ・若者育成支援団体のネットワークづくりを推進し、それぞれの機関や団体の専門性を生かした協働支援ができるよう環境を整備する。
- ・若者育成支援に関わる人材を育てるため、ユースアドバイザー養成講座を年間5回開催する。

## ■上越科学館

### 《上越科学館管理運営事業》

コロナ対策のため、中止または延期のイベントや、利用中止の展示あり

- 1 概要  
・上越地域における科学的な知識の普及や、科学に親しむ習慣の形成に寄与するため、自然観察会、実験・工作教室、サイエンスショーなど様々な自主事業を実施する。
- 2 主な事業  
・夏期特別展「トリックアート展」 【7月18日～8月30日】  
・教員のための科学館の日 【8月22日】  
・上越こども発明工夫・模型・工作展 【9月19日～22日】  
・標本作品展 【9月19日～10月4日】  
・青少年のための科学の祭典 新潟県・上越大会 【11月22日、23日】  
・サイエンスショー 【日曜日、祝日、夏休み期間、春休み期間】  
・各種自然観察教室 【植物、野鳥、地層、昆虫、ブナ林】  
・その他、理科・科学全般、総合学習に関する相談 【随時受付】  
・上越清里星のふるさと館との連携事業  
「夏休み科学研究相談会」 【7月18日、25日】  
「冬の星座観察会」 【令和3年2月27日、3月6日、13日、20日】

## ■上越清里星のふるさと館

### 《上越清里星のふるさと館管理運営事業》

コロナ対策のため、中止または延期のイベントや、利用中止の展示あり

- 1 概要  
・天体観測及び天文に関する資料の展示等を通じて環境や自然の大切さを学ぶ機会を提供する。また、体験学習を通じて、生涯学習の振興と青少年の健全育成に寄与する。  
・デジタルプラネタリウムの有効活用を図るとともに、隕石落下の伝承を始め上越地域の天文教育の拠点にふさわしい学習機会を提供する。
- 2 主な事業  
・「楡池の隕石」落下100年の記念イベント 【7月23日～9月22日】  
・謙信KIDSプロジェクト「ほし」「星」受講者の受入れ 【7、8、9、10月】  
・くしりん号で巡る星空バスツアーなどの自主事業  
・保育園、幼稚園、小学校、中学校の受入れ及び出前講座

## 令和2年度 補助金交付事業計画

担当係・ 担当地区 公民館	補助金名称	補助対象団体 または事業	目的・内容	交付予定額 (円)	備考
板倉	群馬県板倉町子ども会交流事業補助金	板倉子ども会交流会事業	姉妹都市間での相互訪問交流の中で、意見交換・スポーツ・レクリエーション・創作活動などの活動を通して友好親善を深めるとともに、児童の心身ともに健やかな成長を願い、これからの子ども会活動に役立てる。	90,000	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
大潟	生涯学習フェスティバル補助金	卯の花音楽祭	音楽教育の普及啓発に尽力された「日本音楽教育の母」小山作之助を顕彰するとともに、偉大な業績を県内外に発信する。	208,000	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
頸城	生涯学習フェスティバル補助金	くびき文化祭	頸城区で活動を行う市民を中心に、自ら学習した成果を会場で展示・発表する。また、展示作品・発表を鑑賞することにより生涯学習に対する理解を深め、学習意欲を高める。	311,000	
吉川	生涯学習フェスティバル補助金	吉川区生涯学習フェスティバル	生涯学習の成果発表や団体のネットワーク形成の推進を行う。また、作品展・芸能発表会等を行う。	130,000	
中郷	生涯学習フェスティバル補助金	中郷区生涯学習フェスティバル	取り組んできた学習や活動の成果を発表する場として開催し、相互の活動内容を理解するとともに、広く地域住民に知ってもらう機会とし、もって生涯学習に取り組む機会とする。	150,000	
板倉	生涯学習フェスティバル補助金	いたくらふれあいまつり実行委員会	産業の振興、福祉の増進、文化の向上、地域における各種団体及びサークル等の連携と育成強化を図り、地域への愛着心の高揚、地域住民の融和を促進する。	80,000	

担当係・ 担当地区 公民館	補助金名称	補助対象団体 または事業	目的・内容	交付予定額 (円)	備考
清里	生涯学習フェスティバル補助金	清里区生涯学習フェスティバル	清里区内を中心に活動する地域の皆さん、保育園児、小中学生の作品展示やステージ発表を行う。	95,000	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
三和	生涯学習フェスティバル補助金	三和区生涯学習フェスティバル	地域で活動する人たちの作品展や体験コーナーのほか、保育園、小学校、中学校の園児・生徒による発表会を行う。	250,000	
生涯学習係	上越市小中学校PTA連絡協議会補助金	上越市小中学校PTA連絡協議会	家庭・学校及び単位PTA相互の連携強化と地域の教育力の向上を図るため、上越市小中学校PTA連絡協議会が行う広報紙の発行や研究大会の開催等の事業を支援する。	1,355,000	上限額
生涯学習係	岩内町交流事業補助金	上越市子ども会連絡協議会	青少年の健全育成を図るため、上越市子ども会連絡協議会が行う北海道岩内町児童との姉妹都市交流事業「ジュニア上越の船」で来越した児童と当市の児童との交流事業を支援する。	40,000	上限額 新型コロナウイルス感染症対策のため中止
生涯学習係	上越市子ども交流活動支援事業補助金	単位子ども会、地区子ども会連絡協議会、地域青少年育成会議、文化活動団体(5人以上の構成員で組織され、市の区域内で活動する団体)	子どもの異学年交流や地域交流等の促進を図り、ひいてはリーダー育成につながる各種活動を支援する。	750,000	上限額は対象となる団体や範囲により1万円～10万円

## 令和2年度 社会教育委員に関する会議等日程一覧

○現段階での行事予定になります。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、会議・行事の日程・内容が変更または中止となる場合がありますのでご承知おきください。

○社会教育委員の皆様へは、その都度ご案内させていただきます。

期 日	会 議 等 名	会 場 等
	<b>総会のみ書面審議 ※研修会・情報交換会は中止</b>	＜総会・研修会＞ 直江津学びの交流館 ＜情報交換会＞ 未定
6月26日(金)	上越地区社会教育委員連絡協議会 総会・研修会・情報交換会	
<b>中止</b> 7月2日(木)	新潟県社会教育委員連絡協議会 社会教育委員等研修会	長岡市中央公民館
7月3日(金)	第1回社会教育委員・公民館運営 審議会委員会並びに意見交換	上越市教育プラザ
<b>中止</b> 7月開催予定	【事業評価対象事業・必須】 公民館のつどい	高田城址公園オーレンプラザ
9月上旬予定	第2回社会教育委員・公民館運営 審議会委員会	未定
10月 <b>中止</b> 日) ～11日(日)	【事業評価対象事業・必須】 上越市美術展覧会	高田城址公園オーレンプラザ、ミュゼ雪 小町
<b>令和3年度に延期</b> 11月1日(日)	全国人権・同和教育研究大会	上越市・妙高市
11月11日(水) ～13日(金)	全国兼関東甲信越静兼社会教育研 究大会新潟大会	アオーレ長岡
11月18日(水)	社会同和教育市町村巡回研修会	妙高保健センター ※7/13(月)から日程・会場変更
2月中旬予定	第3回社会教育委員・公民館運営 審議会委員会	未定
9月～2月	【事業評価対象事業・任意】 謙信 KIDS プロジェクト 14講座 16コース 293人募集	市内各所
活動内容、人数等を見直して9月以降に実施予定。詳細は別紙チラシ参照。		
9月以降	【事業評価対象事業・任意】 元気の出るふるさと講座	市内各所
9月以降の実施でも成果を見込める地区については実施予定。詳細が決まり次第ご案内いたします。		

## 「上越市の社会教育の方針」の資料内容の見直しについて

### 1 作成経緯と見直す理由

「上越市の社会教育の方針」は平成 29 年度から作成され、社会教育関係者会議の場で審議されてきた。

しかしながら、その内容は公民館事業に関する記載が主であり、また、組織体制等、事務に関する記載も含まれていることから、必要な情報を精査し、社会教育全体の方針を協議できるよう、資料内容の見直しを行うもの。

なお、方針を審議する会議についても情報交換を主とした「社会教育関係者会議」から、市の附属機関である「社会教育委員・公民館運営審議会委員会」に変える。

### 2 社会教育の方針の作成に当たって前提となる計画

- 上越市第 6 次総合計画-後期基本計画-（計画期間：令和元年度から 4 年度）
- 上越市教育大綱（計画期間：平成 27 年度から令和 4 年度）
- 上越市第 2 次総合教育プラン-後期実施計画-（計画期間：令和 2 年度から 4 年度）
  - ・ 社会教育分野-「学びのグランドデザイン」

### 3 各計画等の内容

- 各計画（6 次総、大綱、教育プラン）では、目標とその実現に向けた基本計画等が定められている。
- 「学びのグランドデザイン」では第 2 次総合教育プランの社会教育の目指すべき姿を「学びの輪が人をはぐくみ地域を支えるまち」と定め、事業の目的とその事業の柱を示している。

### 4 各計画等を踏まえた情報の精査

令和 2 年度の「社会教育の方針」の記載項目を分類化すると以下のとおり。

記載項目	分類
1 当市の目指す姿	①学びのグランドデザイン
2 当市の目的	①学びのグランドデザイン
3 目的達成のための公民館における取組方針 (運営方針)	②公民館事業の計画方針
4 組織体制	③公民館の運営に関すること
5 5 本の事業の柱について	①学びのグランドデザイン
6 公民館における 4 つの実施主体及び事業計画について	③公民館の運営に関すること
7 令和 2 年度公民館事業方針	②公民館事業の計画方針

- ① 分類「学びのグランドデザイン」
  - ・ 「学びのグランドデザイン」の記載事項
- ② 分類「公民館事業の計画方針」
  - ・ 第6次総合計画や第2次総合教育プラン、学びのグランドデザインの内容に沿った記載事項（国や県の動向を反映）
- ③ 分類「公民館の運営に関すること」
  - ・ 組織体制や実施主体等、社会教育課に新規に配属及び新任等の公民館主事に必要な情報

## 5 「上越市の社会教育の方針」の形態の変更

- 令和2年度まで
  - ・ 既に各計画において社会教育で取り組むべき計画が示されている。
  - ・ 「学びのグランドデザイン」において、その具体的事業の目的や柱が示されている。
    - 今までの「社会教育の方針」に記載している事項は、その各計画と学びのグランドデザイン、運営に関することを複合的にした資料であった。
- 令和3年度から
  - ・ 年度ごとに変化する「地域の現状と課題」を市としてどう捉え、その現状、課題に対し、「取組の方向（重視する視点）」「年度の重点事業」を設定するにあたり、当課と13区や公民館主事、社会教育委員の意見を取り入れながら、「上越市の社会教育の方針」を作成する。

## 6 その他

過年度までの「上越市の社会教育の方針」に記載のあった、分類「公民館の運営に関すること」は、社会教育課に新規に配属された職員及び新任等の公民館主事に必要な情報であることから、同職員等へ配付している「公民館事業運営マニュアル」の内容に加え、充実を図る。

## 7 方針作成スケジュール（新型コロナウイルスの影響を反映）

時期	内容
7月上旬	第1回社会教育委員・公民館運営審議会委員会議 ・ 地域の状況把握（意見交換）
7月下旬～ 8月中旬	方針（案）作成 ・ 13区意見照会
9月上旬	第2回社会教育委員・公民館運営審議会委員会議 ・ 方針（案）審議
10月	予算要求

## 令和2年度 予算要求方針とポイント（社会教育課）

## 【現状と課題】

## （社会教育事業の充実）

- 公民館を中心に、様々な学習機会や学習成果を発表する機会を提供している中で、家庭の教育力の低下や人権問題など多様化・高度化する地域学習や現代課題に対して、各種団体等と連携・協力しながら解決を図る社会基盤の構築が求められている。
- 生涯学び、活躍できる担い手となるよう、個人の要望に応える学習だけでなく、地域の魅力ある資源を活用した地域づくり等の社会の要請に基づく学習への取組が必要である。

## （高田公園オーレンプラザにおける交流活動の推進）

- 開館3年目となり、「集いの場、語らいの場、活動の場、交流の場」として定期的・安定的に市民の利用があるものの、今後もより多くの方々から利用いただけるよう、引き続き利用促進を図るほか、様々な活動の機会を提供及び支援する必要がある。
- 中央公民館としての役割と機能の整理ができていない。

## （青少年の育成支援活動の充実）

- 各地域青少年育成会議では、それぞれ特色ある活動を行っているが、取組意識の地域差や地域コーディネーターの後継者不足などの課題が生じている。青少年育成事業について、公民館との事業連携等を図る必要がある。
- 中学校卒業後、困難をかかえる若者を支援する場が少ない。若者が自己の目標に向かって学習したり、悩みを相談したりする「居場所」を設置し運営することで、自立を目指す若者や不登校、中途退学、ひきこもり等の予防と支援を行い、将来を担う若者の育成を図る必要がある。
- 困難をかかえる若者支援には若者を支える親の支援が重要であるが、親を支え、励ますなど、支援する場と人が不足している。

## （学習機会や活動場所の提供及び施設の適正配置）

- 地区公民館(28)、公民館分館(20)、生涯学習センター等(13)の施設について、地域内に所在し集約機能を有する施設及び地域実情を把握し、機能集約や多機能化など、各地域内の公共施設を全庁的な視点を持ち適正配置する必要がある。また、特別の機能を有する科学館等について、学習機会を提供する場として、その役割を明確にしたうえで、適正な維持管理に努める必要がある。

## 【目指すべき姿】

学びを通じた人づくり、地域づくりを推進する。

## 【社会教育課の取組方向（重視する視点）】

## 【取組方向①】 社会教育事業の充実

多様な学習ニーズに対応するため、地域の団体及び各種教育関係機関等と連携・協働しながら、参加者が主体的に学び、互いに高め合う機会と場を提供するとともに、地域コミュニティの維持及び活性化に向けた取り組みを推進する。また、地域と家庭が連携した教育力の向上を図ることで、健やかな子どもの育成につなげる。

## 【取組方向②】 高田公園オーレンプラザにおける交流活動の推進

高田公園オーレンプラザを利用する市民の活動及び交流を促進するほか、施設の機能をいかした活動を行う団体を育成・支援する。

## 【取組方向③】 青少年の育成支援活動の充実

地域青少年育成会議や地域団体の活動を支援するとともに、青少年育成事業の実施にあたっては、公民館との連携を図る。また、義務教育終了後も切れ目のない若者育成支援体制を強化するため、若者の居場所(Fit)の開設や上越親の会の開催などを継続し、若者及び保護者の支援の充実に努める。

## 【取組方向④】 学習機会や活動場所の提供及び施設の適正配置

上越科学館を含めた社会教育施設において、「役割」と「機能」を考慮したうえで、学習機会や活動する場を提供する。施設の適正配置についても、利用圏域や地域の実情を踏まえ、その「役割」と「機能」を地域住民へ丁寧に説明しながら進める。

## 【令和2年度の重点事業】

## 社会教育事業・公民館事業

## 【事業内容】

- 家庭の教育力向上
  - ・全ての地区公民館において家庭教育支援講座の実施
  - ・全市を対象とした家庭教育講演会の開催
- 「地域課題解決学習」の推進
  - ・「元気の出るふるさと講座」の地域づくり成果をまとめる
  - ・令和3年度からの「(仮称)ふるさと未来づくり講座」につなげるため、地区公民館の連携体制づくりに取り組む

## 【第6次総合計画】

6-2-1 学びを通じた人づくり、地域づくりの推進-2 公民館活動を通じた人づくり

## 高田公園オーレンプラザ事業

## 【事業内容】

- 交流活動の推進
  - ・市民の集い、語らい、学び、交流の場の促進を図るためアートフェスオーレなどを開催
- 協働で活動する団体の育成支援
  - ・オーレンプラザ利用団体と協働育成事業の実施

## 【第6次総合計画】

6-2-1 学びを通じた人づくり、地域づくりの推進-2 公民館活動を通じた人づくり

## 青少年の育成支援活動

## 【事業内容】

- 地域学校協働活動の推進
  - ・公民館等と地域青少年育成会議の事業連携の取組
  - ・地域青少年まちづくりワークショップの開催
- 若者育成支援の取組の充実
  - ・若者の居場所「(Fit)」の周知と常時開設
  - ・親の会の開催、ユースアドバイザー養成講座の開催など

## 【第6次総合計画】

6-1-2 学校教育環境の整備-3 地域ぐるみの教育の推進

## 施設管理・整備

## 【事業内容】

- 施設の適正配置の取組推進（機能と建物を分離した整理）
  - ・社会教育の機能の点で、使命を終えている分館(20)、生涯学習センター等(13)の廃止の方向性を確立する。
  - ・耐震基準を満たしていない地区公民館3棟の方向性を明らかにする。(令和2年度末まで)
  - ・次期公の施設の再配置計画について、個別施設毎の役割と機能を踏まえて策定する。(令和2年度末まで)

## 【第2次総合教育プラン】

5-1 人づくり、地域づくり充実のための支援

# 令和2年度 上越市の社会教育の方針について

## 1 当市の目指す姿

「学びの輪が人を育み地域を支えるまち」

## 2 当市における目的

- ともに学び、ともにはぐくむ人づくりを推進する。  
多様な学習活動を通じて参加者が主体的に学び、互いに高め合う機会と場を提供する。
- 学習成果が生かされる学びの輪を形成する。  
多様な学習ニーズに応じた学習機会を提供するとともに、学習の成果を地域づくり等に幅広く生かす活動を支援する。
- つながり、支え合う地域づくりを推進する。  
地域青少年育成会議やNPOなど、さまざまな団体や関係機関と連携しながら、地域の各種事業や行事を実施または支援することにより、地域コミュニティの維持及び地域の教育力の向上を図る。

## 3 目的達成のための公民館における取組方針（運営方針）

- 全ての人々が心豊かに暮らせるよう、ライフステージに応じた課題やニーズを踏まえた事業を企画・実施する。
- さまざまな学習ニーズに応えるため、NPO、地域団体、企業、教育機関等の多様な主体が連携・協働しながら、地域資源を活用したバリエーション豊かな学習機会を提供する。
- 地域コミュニティの維持及び活性化に向けて、地域の課題とその対応を学習し、成果を地域づくりの実践につなげる「地域課題解決学習」※1を推進する。
- 次世代の地域の担い手となる子どもや若者を交えた世代間交流を図る事業をはじめ、学習成果の発表会や各種大会など不特定多数が集う事業の実施により、地域の絆づくりに取り組む。

### ※1…地域課題解決学習

地域課題解決学習は、地域住民が地域の課題解決に向けて主体的に活動していくことを目指す（住民の自主性・自発性の尊重）。学習内容は地域の課題にあったもので良いが、参加者が公民館事業終了後も地域で継続して活動または新たな取組のきっかけとなる事業とする（例：本の読み語り、お茶のみサロン、夏祭りの踊り講習会、地域巡りなど）。

なお、実施に当たっては、参加したくなるような事業名と参加継続してもらうための楽しい仕掛けをつくる必要がある。

## 4 組織体制

- (1) 28 地域自治区単位で実施する事業  
地区公民館事業として、13区では、各区教育・文化班職員及び公民館主事、15区では、社会教育課職員及び公民館主事が連携しながら、公民館運営委員をはじめとする地域住民とともに学びを通じた地域づくり・人づくりを実践する。  
なお、実施する事業は、地域の課題やニーズを把握するための聞き取り調査の結果に基づき、計画・実施することとし、地域が行う活動の相談対応等の学習支援も積極的に行う。
- (2) 全市的に実施する事業（中央公民館事業、同和教育、市展、成人式等）  
社会教育課職員が必要により各区教育・文化班職員の協力を得ながら企画・実施する。
- (3) 役割分担  
公民館に関わる職員等は、以下のとおり役割分担をした上で、相互に情報を共有しながら事業を実施する。

**社会教育課職員**…事業の統括、区総合事務所職員及び公民館主事との連絡調整・事業方針等協議、合併前上越における地域の実態把握、組織図の更新

**区総合事務所職員**…社会教育課とともに事業方針等協議、公民館主事と地域の実態把握、組織図の更新

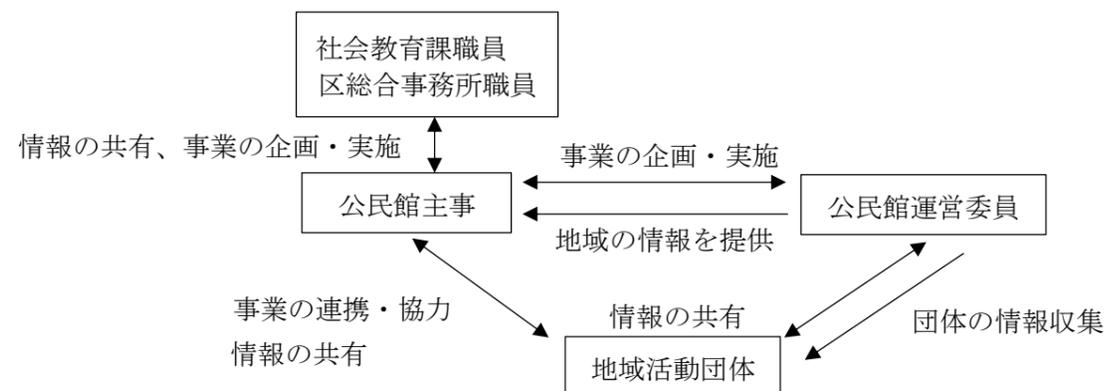
**公民館主事**…社会教育課とともに事業方針等協議、公民館運営委員と地域の実態把握、地域団体及び各教育機関等との連絡調整

**公民館運営委員**…地域の実態把握、情報を公民館主事及び職員へ報告、地域団体及びキーパーソンとの連絡調整

### (4) 地区公民館・分館事業及び地域公民館事業にかかる取組方法

- ① 地域団体及びキーパーソンの協力を得ながら、地域自治区や分館の範囲等に限らず、公民館活動をしやすい範囲において公民館事業を実施する。
- ② 公民館条例上で分館を廃止した地域においても、公民館事業を継続することにより、住民主体の活動を支援し、地域における活動の維持継続を図る。

### 【職員体制イメージ図】



## 5 5本の事業の柱について

事業を実施するに当たり、5本の事業の柱を主軸に各年齢期における課題やニーズを踏まえた事業の実施を図っていく。

「5本の事業の柱」

### ① 学びのきっかけづくり

地域住民のニーズに応じた趣味や教養講座等から個人の学びの意欲を高めるとともに、交流の輪を広げる。

### ② 未来を支える人づくり

地域資源及び地域の人材を活用した体験活動や交流等を通じて、子どもたちの豊かな心を育む。

### ③ 育ち合い、支え合う家庭環境づくり

子どもが健やかに育つよう家庭の教育力向上を図るとともに、子どもの居場所づくりに努める。

### ④ 地域・現代課題に対応した地域づくり

各地域自治区における地域の課題や情報モラル等の現代課題を学習することにより、課題解決に向けた意識を高める。

### ⑤ 行動する人への支援

これから行動しようとする人や自主的に活動している団体、個人への活動支援を通じて、活動機会の提供及び活動の維持・継続を図る。

## 6 公民館における4つの実施主体及び事業計画について

事業計画は、5本の事業の柱に基づき、中央公民館、地区公民館、分館、地域公民館ごとに立てることとする。

### (1) 中央公民館事業

- ・市内全域の地域住民を対象とした事業
- ・上越市公民館のつどい（公民館関係者による事例発表及び講演会）
- ・市の各種計画等の施策に基づき、実施する事業（市内全域を対象とする）

### (2) 地区公民館事業

- ・公民館運営委員及び公民館主事による地域の聞き取り結果を踏まえ、地域の課題やニーズに応じて実施する事業

### (3) 分館事業

- ・分館地域における課題やニーズに対応した学びを実施する事業

### (4) 地域公民館事業※2

- ・条例上削除した分館地域における課題やニーズに対応した学びを実施する事業

※2…地域公民館事業

条例上の分館事業と条例上削除した分館の事業を区別する必要がある時に用いる。条例上、施設を削除しても、そこで行っている事業等の活動は従前どおり継続することとしている。

別紙「上越市立公民館事業及び地域公民館事業実施要領」参照。

地域公民館事業に該当する地域

区名	地域（旧分館）名	施設数	廃止年度
大島区	大島、旭、菖蒲、保倉	4	H27
大潟区	雁子浜、九戸浜、潟町、四ツ屋浜、土底浜、下小船津浜、上小船津浜、渋柿浜、犀潟、蜘蛛池、潟田、岩野古新田、潟端、内雁子、長崎	15	H27
頸城区	大瀧、明治東	2	H28
吉川区	吉川、水源	2	H27、28
板倉区	針、豊原、宮島、山部	4	H28
名立区	名立北、不動	2	H28
計6区		29	

## 7 令和2年度公民館事業方針

地域コミュニティの維持・活性化に向けて、公民館が中心的な役割を果たせるよう、平成31年度・令和元年度の公民館事業方針は下記のとおりとする。なお、社会教育法及び関係施策に基づき、5本の事業の柱のうち、①～④の柱を必須事業として位置付け、全ての地区公民館で実施する。

- 魅力ある地域の資源を学び、活用する学習の機会を提供する。
- 地域全体で未来を担う子ども達の成長を支えるため、学校や地域団体等と連携・協働事業を推進する。
- 家庭の教育力向上のため、親として必要な知識等を学習する機会の充実を図る。
- 学びを通じて、参加者同士のつながりを深め、地域づくりの実践につなげる参加者主体の「地域課題解決学習」に取り組む。